

2006年度 ゆきとどいた教育をすすめる

全国 3000 万署名・推進ニュース NO. 22

発行日:2006年11月13日 発行:全教・日高教・教組共闘

―東京― あと1ヶ月 教基法改悪阻止のたたかいとともに、 3000万署名数の飛躍的前進を勝ちとろう、と決意固めあう！

都教組の「3000万署名学習交流会」が11日に開催されました。はじめに、全教からの「今年の3000万署名の意義と全国のとりくみ」、東京私教連からの「私学でのとりくみ」の報告が行われました。そのなかで、東京私教連からは生徒たちが学習会を開催し、駅頭で署名行動にとりくむなど、自主的なとりくみが進んでいること、23日には東京の私学フェスタを生徒中心に開催すること。また、10日には100名を超える父母が参加し、午前は国会議員、午後は都議会議員に紹介議員とりつけ行動を行ったこと等、都内で私学の生徒、父母・教職員が旺盛に3000万署名にとりくんでいることが語られました。

その後に行われた「各支部交流」では、参加した支部からとりくみ状況が語られました。ある支部からは、「教育基本法改悪阻止のたたかいに全力でとりくんでいる。若い組合員が多い職場では、日比谷野音の集会にも8名が参加し、集会後銀座で食事をして語り合うなど頑張っている。そのように教基法改悪阻止にむけて奮闘しているなかで、今年の3000万署名のとりくみはしょうがない、あきらめようと考えていた。今日、お話を聞いて、ちょっと心が動いた」との話が出されました。

さらに、他の支部からも、「今日の会議には来たくなかった。9月に提起し、10月にも要請したが、集まっているのは50筆程度。教育法改悪阻止のたたかいでは大きな運動をすすめているのに、3000万はすすんでいない。何とか、難しいが取り組んで行きたい」と、同じように遅れている現状と打開する決意が語られました。

それをもとに、今後、どのようなとりくみで署名数を増やしていくのか、議論が行われました。議論の中では、東京私教連から「私は1000筆を目標に取り組んでいる。そのため、毎日署名を10枚程度持ち歩いている」との発言もありました。その議論を受けて、最後に山崎副委員長は、①まずは組合員と家族の署名を集めよう。②教基法改悪反対などの集会にも3000万署名を持参し、集めよう、等の行動提起を行いました。

あと、1ヶ月！ 短期間に署名を集めるために、佐賀高のとりくみに学んで、やって見ませんか！

推進ニュース NO. 14 再掲載

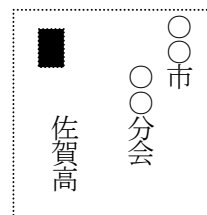
―佐賀― 短期集中型のとりくみ 10日間で3000筆集約

佐賀高では、毎年組合員一人あたりの署名目標をかかげて、とりくんで来ましたが、なかなか目標の署名数が集まりませんでした。そこで、執行部で検討を重ね、今年度は、「全員投票のような体制」でとりくむことを決めました。

9月の中央委員会で、「全員投票のような体制で取り組もう」と、「組合員と家族署名」を呼びかけ、意思統一しました。各分会に、教育基本法改悪反対の署名用紙と3000万署名用紙、署名提出組合員数報告のための用紙、そして返信用封筒を配布し、指定された日まで返送してもらいました。

すると、わずか10日間で、なんと3,000筆が集約されました。昨年の署名数は、4,234筆なので、すでに70%の達成率です。

今後は①職場の未組合員に訴える、②地域に出て署名を訴える、計画です。10月中には昨年度の署名数を超えようと、頑張っています。



- ・教育基本法署名
- ・3000万署名
- ・署名提出組合員数報告用紙

2種類の署名と報告用紙を分会に送付